

熱接着フィルム採用間近

アイセロ



牧野渉社長

アイセロは事業の新たな牽引役と位置づける熱接着フィルム「フィクセロン」を4月に上市した。現在、自動車業界など約10社で実用化に向けた試験を実施しており、年明け早々にも一部で採用、受注となる見込み。

シート状の接着剤である「フィクセロン」はアルミや銅鉄などの金属物

とポリプロピレン、炭素繊維強化プラスチックなどの樹脂を加圧・加熱するだけで貼り合わせることで可能。自動車分野をはじめとする部材の軽量化・樹脂化などにより高まる異種材接着ニーズに合致する。高い接着強度に加え、臭いもなく短時間で接着することも特徴。養生が不要で作業工程の効率化や人体への影響、環境面でも優れている。

また、「フィクセロン」は熱板プレス接着、射出成形、高周波接着、真空成型などの工法に対応で

き、既存の設備で円滑に導入ができる。実用化試験で需要先の工法や接着する素材に合わせた改良を検討。将来的には接着に必要な熱や圧などが異なるいくつかのラインアップを揃え、顧客ニーズに柔軟に対応していく予定。

一方、現在の主力である自動車業界向けの防錆フィルム「ポーセロン」の改良にも注力。自動車向けとして国内で9割、グローバルで3割のシェアを維持している。防錆フィルムの競争は激化しており、防錆機能の強化

はもちろん価格競争に耐えうる商品の開発を進めている。

「ポーセロン」のほか、洗濯用洗剤向けの水溶性フィルムは北米で市場が拡大、半導体向けのポリ容器も海外で順調に推移している。中国やマレーシアなど海外に13拠点を保有する同社では、リスク管理とともにグローバル人材の育成にも力点を置いていく。